

平成29年度第5回府中市地域公共交通活性化協議会 議事録

1 開催日時

平成30年2月6日（火） 午後2時30分～午後4時18分

2 開催場所

府中市役所4階 第一委員会室

3 出席者

（委員）

石原 完壽 中村 一夫 渡邊 寛人 角 年昭 宮口 泰彦
横島 幸宏 （代）赤澤 大（代）寺口 真耶 渡邊 一成 津川 員佳
（代）高山 俊宏 （代）渡辺 孝 上田 隆博
河毛 茂利 石川 裕洋 栗根 誠司 九十九 浩司

（事務局）

建設産業部長 若井 紳壮 まちづくり課長 杉島 賢治
まちづくり課都市計画係長 能島 克則 まちづくり課都市計画係主任 掛江 昌史
同主任 信岡 知典 同主任技師 川崎 智隼

4 欠席委員

石津 高弘

5 議事

第1号議案 市街地循環バス（左まわり）の本格運行実施（案）

第2号議案 上下町デマンド型乗合タクシーの区域変更（案）

6 配布資料

資料1 府中市地域公共交通活性化協議会委員名簿／配席図

資料2 平成29年度第5回府中市地域公共交通活性化協議会-議案集

資料3 平成29年度第5回府中市地域公共交通活性化協議会-資料

資料4 平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画の変更申請について

7 傍聴者

4人

8 議事の内容

○開会

【事務局】

○部長挨拶

【建設産業部長】

○配布資料の確認

【事務局】

○委員就任の報告、代理委員の紹介、欠席委員の報告

○議事

【事務局】

協議会規約によりまして、会長が議長となることとなっております。
これより先につきましては、渡邊会長に議事の進行をお願いいたします。

【会長】

皆さまこんにちは。福山市立大学渡邊でございます。今日もよろしくお願いいたします。
私が実は大学を出た時は、天気が良かったのですが丁度こっちに歩いてくる時には大雪が降りまして。今年は非常に雪の量が多くて、関係各位の皆様、かなりご苦労されているのではないかというふうに思っております。冒頭、若井部長の方からありましたように、今日は市街地循環バスとデマンドタクシーの話でございます。どちらも市民の方、特に高齢者の方々の生活を支える非常に貴重な公共交通だと認識しております。忌憚のないご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは以降座って進行のさせていただきます。

それでは、第1号議案「市街地循環バス（左まわり）の本格運行実施」（案）について、まずは事務局から説明をいただきまして、その後ご意見ご質問を伺いたいと思います。

それでは事務局説明お願いいたします。

議事①

○議案 市街地循環バス（左まわり）の本格運行実施（案）について

事務局より市街地循環バス（左まわり）の本格運行実施（案）について説明

【議長】

ありがとうございました。だいぶ詳しい説明を事務局からしていただきまして、イメージがお分かりいただけたかと思います。それでは、ただ今の事務局の説明に対しまして、ご意見ご質問があったらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

【委員】

1月のデータというのはいもう出ているのでしょうか。

【事務局】

1月のデータも出ております。ただ、今回の議案の方に盛り込むのが遅れまして、出せてないのですが、1月のデータにつきましては12月に比べますとやはり若干落ちています。

というのが、1月正月休みがありましたので、病院が再開されるタイミングもありましたし、ちょっと出足が鈍ったという状況もございます。1月の利用者は落ち込んでいるという状況にはなっております。

【委員】

今回10月からの試験運行をふまえて、データを2社で、中国タクシーさんとアシナトランジットでとって見たのですが、若干利用者の減少傾向にあるということもあります。こういった形で情勢が進んでいくと、逆にタクシーの需要が減ってしまう可能性ということも当然考えていただく必要があるかと思えます。目標値に達すれば、その分だけがもしかしたらタクシーが侵食されるという状況になっていくのかも知れません。ただ、地域の方の利便性を考える中で、必要な事という判断であれば、逆にこういった路線バス以外のところのタクシーの助成金の制度等も併せて考えていただいて、利用される方がより増える方がいいのであれば、タクシーより助成し易い、例えば今回の便が1便当たりもしくは一人当たりどれくらいの公共的な助成があるのか私共には分からないのですが、そういったものと同じ価値のものをタクシーの方にも与えていただくと、よりご利用いただきやすくなるのではないかと。ちょっとここで言うべきではないかもしれませんが、ひとつ併せて、タクシーの動きとして、免許返納者の割引を実はもう府中市の2社は既に65歳以上の免許返納者に対しては、1割の割引という事で、タクシーの認可申請を起こしています。ですが、福山東署の署長さんの要請ということで、広島県タクシー協会東部支部、加盟30数社に対してタクシー協会の会長の方から、東部の会長が呼びかけて、免許返納者割引を導入する会社が多かったのですが、おおかた20社強のところ、この度この1月から2月にかけて、12月の末から2月の中頃にかけて、免許返納者割引をするということが決まって、今申請中です。私ども、65歳以上の免許返納者という条件がついていたのですが、協会の動きもあり、65歳を外しました。多分中国タクシーさんも外されると思うのですが、それがほぼ出揃った時点で、プレス発表をするという形になっておりまして、こういった形で地元の例えば免許返納者の方の利便性を高める為の動きもやっておりますので、長々と話をしましたけど、できれば何らかの補策を考えていただければとありがたいかなというふうに思っております。

【議長】

事務局の方から何かありますか。

【事務局】

今、委員からお話いただきました、まずひとつには、今回ぐるっとバスを通したという経緯です。府中市が考えるコンパクトシティ。先程担当者が説明しましたように、府中市としては、ネットワーク型のコンパクトシティを目指しています。そういう中のひとつとして、昨年度も立地適正化計画を策定し、居住誘導区域というものを検討させていただき設定させていただきました。その居住誘導区域の中の交通空白地を解決していこうという策で、今回運行させていただいています。ですから、今後、循環バスであるとか、路線バスのあり方さらに言えばタクシーの役割、それぞれの役割というものをまた明確にお示ししていく必要があると思います。そうした中で先程委員が仰られたタクシーの助成というものが出来るのかどうなのか、そういうところを含め検討させていただくのが良いと考えております。あと併せてぐるっとバス等、路線バスについても今後免許返納者、これはまちづくり課だけが考えることができる訳ではないですが、関係部署と連携しながらいかに解決していくかということを引き続き検討させて頂きたいと思っております。

免許返納者について情報提供としてお伝えさせていただきます。

免許証返納については、交通安全担当部局である総務課の方で現在検討されておりました、平成30年度から免許返納者に対する補助、例えばタクシーチケットの配布であるとか、バスの無料乗車券なのか、PASPYのチャージ料なのか、そういったところで免許返納者に対する補助制度を今検討されています。平成30年度4月以降の導入を目指して検討されているということは、情報提供として総務課からいただいております。時期であるとか、金額であるとかそういったことは決まっておられません。

【議長】

他はいかがでしょうか。

【委員】

今後4月から本格運行左まわり便も移行されるということで、先程見晴団地内の停留所の増設を検討されていたということで、結果としてそれ自体は無いということですが、冒頭の説明の中で運行の便数やダイヤについても引き続き試験運行での内容での継続をされるということですが、利用の実態が増えたり、また1月が落ち込んだりというようなお話もありましたが、ダイヤについて住民の方からもし要望等があったのか、教えていただければと思います。

【事務局】

ダイヤについてですが、先程説明させていただいた通り、朝の便と夕方の便の利用者が非常に少ないという実態がございます。一応こちらの方も今後検討していく中で、利用者がいないのであれば削減していくとかそういったことも検討するべき事項ではあるとは思いますが、現在右まわりと左まわりを合わせた形での運行を重視させていただいております、

右まわりが8時から4時まで走っているのに、左まわりだけが、例えば9時から2時とかで終わってしまうというのでは利用促進、住民の利用について手厚いサポートが出来ないのではないかと、現段階におきましては今後の利用促進を呼びかけるという条件で続けさせていただきたいと。言い訳としてさせていただければ、削減することはとても簡単なのですが、一度削減したものをまた追加で走らせるとか、大きく延ばすということについて結構なエネルギーが必要になってくると思いますし、その場合、皆さんの同意であるとかそういったものがかなり必要になってくると思いますので、軽々にダイヤを削減することは、現在のところ思っておられません。

【委員】

今回初めて参加させてもらったのですが、ちょっとお聞きしたいのが時間帯によっても交通量がかなり増えている時間帯があると思うんですけど、定時制なんかで問題とかはないのでしょうか。それと、利用促進策という話があったんですけど、私、初めて参加したので、その辺が分からないので、事例とかがあったら教えていただければ。

【事務局】

先ず、利用促進策についてこういったものを今までしてきたかということですが、平成27年度から平成28年度にかけて市内の府中市民病院を建替えております。その建て替える中で市民病院の駐車場が不足するという問題が生じたので、駐車場不足に対応する為に市民病院にぐるっとバスに乗って通院に行かれる方については、無料乗車券を配布するという形で対応させていただきました。これは、非常に効果的な対策だったと思うのですが、非常にぐるっとバスの乗降者が増加したという傾向がございます。また昨年度から実施しているのですが、後ほど今年度の取り組みの中で報告させていただくのですが、保育園児にぐるっとバスのデコレーションをしていただくことで、その保護者とか普段乗りえない方が土曜日とかそういった休みに子供と一緒にバスに乗っていただくということもおきております。そういった形で、決して高齢者だけに目線を向けるのではなくて、普段使われない方々が使えるような利用促進策としてバスのデコレーションであるとか、現在のエブリィさんとの共同企画といたしまして、買い物に行かれるのに利用されるサポートであるとか、そういったことを利用促進策としてこれまで実施をさせていただいた実績がございます。

【委員】

定時性の課題はないのですか。

【事務局】

バスの定時性、所謂、遅れという事に関しましては、当初、時刻表をゆとりを持って作成していたので、遅れはなかったですが逆に調整を運転手さんの方にさせていただく箇所が何箇所もありました。今後ダイヤの調整はさせていただく予定になっています。

実際に走らせてみるまでは、机上での計算を今回のぐるっとバスの時間をさせていただい

てます。実際に走らせた時に、やはり国道を走るスピードとか、市道を走るスピードとか当初予定していた時間よりも若干違ってきます。ただし、そういう中で時刻表の時刻より先にバス停に着くということにはならないので、若干市役所をスタートする時間を調整させていただいたり、そういうところで苦労したというところは中国バスの運転手さんの方からお聞きしております。そういうところは今後見直しが必要なのかなというふうに感じております。

【委員】

利用促進策について、気になったことがひとつありましたので言わせて頂きたいと思います。エブリィとの共同で企画をお考えだということが出ていたと思います。官民共同のバス利用促進企画ということで、ぐるっとバスの路線には民の施設はいっぱいあるんです。で、エブリィさんからの提案があったからこうなったのかののかも知れませんが、その他の施設さんの方にもお声掛けいただいた方が、市役所が主導する動きとしてはよろしいのではないのでしょうか。言ってみてしないものいい訳で、ただ、言わないとか教えてもらえなかったとか、声もかけてもらえなかったということで、不満の残る様なことの無いようにして頂きたいなと思いましたので、よろしくをお願いします。

【議長】

ご指摘の通り、他にも多分商業施設さんや是非多くの施設のみなさんが参加してくれると凄くありがたいですね。

他にありますでしょうか。

【委員】

すみません。交通管理者という立場でちょっと聞いてみます。左まわりのコースについてのバス停設定というのは、事前に協議いただいて、うちの方もこれならいいだろうということで了承をしているわけですが、実際運行してみて、このバス停の設置場所で危険な箇所があったとか、意見があったから、変えて欲しいとかですね。今見晴団地については利便上変更して欲しいと言われたのですが、安全上ですね、側溝があって非常に乗降が危険だとか、こういった意見があればその結果を聞いてないので教えていただければと思います。

【事務局】

一応、乗り込み調査とあと地域をまわらせていただいて、沢山のご意見をいただいたのですが、その中では、こういうところは危なかったとか、また運転手さんの方からも、ここはちょっと危ないよというようなご指摘は今回いただいておりません。

【委員】

この左回りの運行が始まる前はタクシー事業者としてかなりのタクシーの利用者の減少が見受けられるのではないかなと想定はしておりましたが、多少の減少はありますが、そう極端にタクシーの利用が落ちていないという面もございます。運行が始まったばかりですの

でこれからアピールされて、利用者の方も増えられると思うのですが、利用される方へのヒアリングはなされているようで、報告もありましたが、じゃあ逆に利用されない方になぜこの左まわりのバスを利用されないのか、というところのヒアリングはこれからされる予定があるのか、もしされているのであれば、なぜ利用されないのか、その理由が出ておれば何点か披露していただければと思います。

【事務局】

今ご質問がありました、利用されていない方への調査というのは具体的にはしていません。あと、地域でのお話をされた時、やはりぐるっとバスを利用されていないというのは、やはり今だに現役で車を運転されていらっしゃる、というふうな理由が圧倒的なところでありました。

今後、これから後に触れるのですが、来年度、地域公共交通網形成計画というものを策定しようと考えております。その中でアンケート調査をさせていただきまして、今ご質問があったような内容もあわせて聞き取り等させていただきたいと考えております。

【議長】

他にいかがでしょうか。

では、私の方から中国バスさんにちょっと、答えられる範囲でいいのでお答えいただきたいのですが、やはり今利用促進策ということでもかなり色んなお話があって、そういう意味では市民の方の出来るだけ利用できる交通機関が増えるというのは、非常にいいことだと思っただけで是非ともそれを色々と多面的に、30年度からということ想定されているみたいなので、取組んでいただきたいのと、特にバスについては例えば、市民の方の、回数券が欲しいとか、例えば一日利用券みたいな形にして、右まわり、左まわり一日乗り放題で500円。とか何かそういうふうなことが出来るのかどうか、というあたりコメントをいただければと思うんですが。

【委員】

回数券であるとか、一日利用券であるとかというのは設定するという事は可能だと思いますが、本当にそれが利用促進になってくる、というのが無いとただそれを作っただけで終わってしまうような事になってはいけないので、その辺の裏打ちはしっかり必要だろうと考えております。

【議長】

ありがとうございました。先程も事務局の方からお話がありましたように、次年度から公共交通網形成計画を作るという方向で、考えておられるようですので、その際には恐らく地域の人口の動向でありますとか、あるいはヒアリング、アンケートに基づく地域の方々の意向だとか、そういうのもふまえて計画を立案していくことになると思います。またそのあたりで引続きこの市街地の循環バスの利用について、検討していければなというふうに思いま

す。 他には何かございますか。

【委員】

すみません。私の分野ではないのですが、JR さんがこられておりますので。都市によっては、JR で行ったら、市内の循環バスが一緒についているよというような切符があるみたいですが、これ旅行者にとっては凄い便利だと思うのですが、そういった JR さんとコラボしたような企画があればと思いましたので。

【委員】

くまなくお出かけパスということで、岡山・福山エリアというのが糸崎まであります。

その中で、井原鉄道とか、岡山市内であれば路面電車がありますので、その乗り放題切符が、一日大人であれば 1,950 円です。そういう切符等がありますので、そういったかたちで工夫が出来るのではないかなと思っております。

【議長】

そういう意味では非常に色々な可能性がありそうだと思いますので、またその辺は引続き検討していければというふうに思います。

他には何かございますか。

それでは、この 1 号議案につきまして、これから挙手による採決を行いたいと思います。

「第 1 号議案 市街地循環バス（左まわり）の本格運行実施について」、本格運行を実施することについて採決をいたしたいと思います。

承認される方は挙手をお願いしたいと思います。

(委員同意)

ありがとうございます。挙手多数でございます。

第 1 号議案につきましては、可決されましたので、第 1 号議案の案を削除していただきたいと思います。よろしく願いいたします。

続きまして、市街地循環バス（左まわり）の本格運行がただ今承認されましたので、引き続き事務局の方から説明をお願いいたします。

【事務局】

○地域内フィーダー系統確保維持計画変更申請について

事務局より地域内フィーダー系統確保維持計画変更申請について説明

【議長】

ありがとうございました。当面の目標値を 3.5 人にするというご提案でした。

今の説明をふまえて、ご意見、ご質問ございましたらお願いいたします。

もし分かれば、ちょっとお願いしたいんですけども、大体今右まわりが実績で平成28年度で4.6人、大体5人ぐらいになってきていると思うんですが、やっぱり右まわりも結構この数字になるまでには時間がかかったものなのかどうかというあたりを、私勉強不足で、右まわりがいつから始まって、どのくらいだったのか、ちょっと勉強してなかったのもので、その辺もし分かれば教えていただけると幸いです。

【事務局】

右まわりの運行につきましては、平成22年度の試験運行からの実施からということで、現在まで運行して、約7年間運行をいたしているところであります。平成23年から本格実施という形で運行させていただいていると思いますが、その間の1便当たりの平均乗車人数ですが、平成24年度が3.8人。平成25年が4.2人。平成26年度がちょっと落ちて3.8人。平成27年度が4.1人となっております。平成28年度に5.1人という形で大幅に伸びております。現在4月～1月までの数値ですが、4.9人という状況で推移をしてきている状況でございます。

【議長】

ありがとうございました。最初は「3.」いくつで、そこからどんどん増えてきている、その様な傾向だと分かっていただけだと思います。

他にはいかがでしょうか。

内容的には、先程説明いただいたことが多分計画の中に盛り込まれて、ポイントとしては当面の目標をいくつにするのかということがおそらく今回の議論で、当初、実験段階では5ということになっていたんですけども、どうも「5」はハードルが高そうなので、当面「3.5」にしてはどうか、というのが事務局の提案だということでございます。

皆様の方から特に質問が無いようでしたら、この件につきましても、挙手による採決をとりたいと思います。

先程説明にありましたように、計画の細かい部分につきましては、事務局の方に文言等の修正も含めて一任していただくことにいたしまして、「地域内フィーダー系統確保維持計画変更申請について」、につきまして、挙手による採決を行いたいと思います。

ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(委員同意)

ありがとうございます。挙手多数ということで、可決されました。ありがとうございました。「地域内フィーダー系統確保維持計画変更申請について」は承認されました。

続きまして、次の議案の方に移りたいと思います。

「第2号議案 上下町デマンド型乗合タクシーの区域変更(案)」につきまして、事務局から説明していただき、その後、ご意見・ご質問を伺いたいと思います。それでは先ず、事

務局の方から説明お願いいたします。

議事②

- 議案 上下町デマンド型乗合タクシーの区域変更（案）について
事務局より上下町デマンド型乗合タクシーの区域変更（案）について説明

【議長】

ありがとうございました。それでは、事務局の説明に対しまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

【委員】

質問させてください。上下地区のデマンドに関しては、あまり情報が頭の中に入っていないものですから、教えていただければと思うのですが。これは、週に何便あるのですか。

【事務局】

1コース2便ございます。

【委員】

週に2便だけ？

【事務局】

6コースございます。それぞれのコースで2便運行しています。

【委員】

続いてデマンドに関する件なのですが、これは上下も府中も同じようなのですが、週に2便ということで、府中は朝晩になっていますけど、こんなものでいいのですかと質問させて頂きたいのですが。地域の方の利便性を考えるのであれば、週2便ではなくて、それこそ1日2便。必要に応じてやってあげないと。という言い方は申し訳ないですが、やるようにしないと。それこそ、片やぐるっとバスは1日に11便。こういったこともまったく無い状況の中で、それだけでいいのですかというふうに聞きたいとこですが。いかがなものでしょうか。失礼します。

【議長】

事務局、よろしいですか。

【事務局】

委員から、ご質問ありました週に1便でよいか。そこについては、まさしく仰るとおりだと思います。ただ、実際府中のデマンド交通について、先程も触れましたが、空木地区、荒谷地区、諸毛地区、今回の上下地区もそうなのですが、便数を増やすことについては、地域

ともよく話をしていく必要があると思います。まずは地域にヒアリングを取っていくというのが一番大切だと考えます。先程のぐるっとバスもそうなのですが、先ず今公共交通に求められているところというのは、地区と一緒に作っていくというのが必要なのだと思います。そういうことからすれば、先ずは地域が、何を求めているのかというのを先ずお聞きしていく事が、大切です。逆に府中市が先行して、どんどん増やしたら乗るのではないかと、いうところではないのかと思います。先程のおたっしや号について、10月からの路線バスの廃止について地域に説明させていただいた時に、今後おたっしや号の利用が増えた際には、便数が増えていくという事は市としても積極的に考えていかないといけないというのは、説明させていただきました。ですから、まず先に増やして待つのではなくて、地域の皆様の声を聞いて増やしていくなり、そういうところを今後は積極的に議論していきたいと思っています。

【議長】

今に関連して。先程もありましたが、来年から網形成計画を策定するというお話を予定されているということなので、その中で、例えばおたっしや号についてもアンケートになるのか、ヒアリングになるのかですが、その地域の方の実情であるとか、多分街中とここだと乗車密度も多分違うとか、そういう物理的な状況もふまえて、どうあるべきかということを考えるということをお願いしてもよろしいですか。

【事務局】

今のご意見をふまえて、網形成計画策定の際に、アンケートも含めて慎重に計画させていただきますと考えております。

【議長】

ありがとうございます。他はいかががでしょうか。

【委員】

拡大するエリアというのは、資料3の9ページの最後のもので良かったですか。

有福コースと小塚コース。二森地区は除くと書いてありますが、二森地区というのは実際のどの辺のエリアが無くなっていくのか、ちょっとエリアが具体的にイメージできなかったの。

【事務局】

二森地区は除くと書いてありますが、二森地区というのは階見コースというのがありまして、このコースに含まれている地域です。実際この辺りの地域が二森地区になってくるのですが、こちらの地区の乗客を拾ってしまうと、お客さんを取ってしまうということになるので、ここを運行するのだけれど、この経路に二森地区が含まれていってしまうんです。

この道路沿いを運行経路にはするのですが、二森地区の人はこのコースには含めませんよ

という意味です。

【議長】

他はいかがでしょうか。

すごい簡単な質問なんですけど、路線バスが走っていた時は、この後とか、上野町とか、辰ノ口だとか下野町。ここにはバス停があったのでしょうか。

【事務局】

はい。ありました。

【議長】

とすれば、地域の方は乗りたいなという話が出てくるのかなという気がしますね。

他はいかがでしょうか。

【委員】

新しい施策で、免許返納者は200円でというのが付け加わったと書いてあるのですが、実際免許返納者というのは、75歳以上がほとんどです。府中警察署へ昨年、免許証を返納された75歳以上の方は106人おられます。総数で148人おられました。ほとんどが75歳以上です。ということは、高齢者75歳以上とほとんどダブっているので、免許返納を促すという観点から、警察的な観点から言うと、もうちょっと差があってもいいのではないかなというところで今話したんですけど。ほとんど75歳以下の人は、ご自分で病気をされて、運転が出来ないような特別な事情があるような方で、危険を伴うような運転をなさる方はあまりおられないので、その辺どうかなというのがありましたので。

【事務局】

免許返納者に対する取組みといたしましては、今回この返納者に対しての区分を分けてということなのですが、先程もちょっと説明させていただいたのですが、交通安全部局の方で、免許返納者に対して平成30年度からタクシーチケットであるとか、そういったものを今後検討しているということを伺っております。その中で、そういった利用も含めて、交通安全部局であるとか、高齢者担当部局であるとか、そういうところと公共交通担当部局がどこまで出来るのか、今後検討させて頂きたいと考えております。

【事務局】

ありがとうございます。まずは、新しい区分を作るということで踏み出して、金額はまたちょっと検討になるのかなという気もいたします。

他はいかがでしょうか。

それでは、他に質問が無さそうですので、こちらにつきましても、挙手による採決を行いたいと思います。

「第2号議案 上下町デマンド型乗合タクシーの区域変更（案）について」、採決を行い

ます。承認される方は挙手をお願いいたします。

(委員同意)

ありがとうございます。挙手多数でございます。多数により可決されました。それでは、第2号議案の(案)を削除していただければと思います。

議案につきましては、以上2案でございます。ここからは報告事項となります。それでは、報告事項につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

報告事項

- 府中市地域公共交通網形成計画の策定について
- 平成29年度の取り組みについての説明

【議長】

ありがとうございました。ただ今、事務局の方から「地域公共交通網形成計画の策定について」と「平成29年度の取り組みについて」ということで報告がありました。これについてご意見・ご質問ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

では私の方から。資料2の13ページの上に公共交通ネットワーク構造という図がありますが、これは都市マス、それとも立地適正のどちらの計画に載っている図でしょうか。

【事務局】

今ご質問のありました、ネットワーク構造を表しておりますが、この図は立地適正化計画で作成したものを載せさせていただいております。

【議長】

ありがとうございます。ほとんど都市計画マスタープランの構造図と変わらないという理解でいいですか。

【事務局】

都市計画マスタープランを大前提に立地適正化計画を策定しておりますので、考え方は変わっておりません。

【議長】

ありがとうございます。

これを言うと怒られるかもしれないですけど、来年から進められる網形成計画については、例えば、今上下から多分三次に行く線が、やはり入るべきなんじゃないでしょうか。その辺の利用動向は私も1、2回ぐらいしか乗ったことがなくて、肌感覚で分からないですが、例

えば、福山と府中のアクセスはあるんだけど、ひょっとすると上下の中心部と三次の方の線も使われているのかなとか、その辺のところも少し幅広に市内の公共交通、周辺地も含めたあり方について、是非とも来年いろんなアンケートや、ヒアリング、利用実態もふまえて検討していければと、この図を見て思いました。

他には、ご意見・ご質問ありますでしょうか。よろしいですかね。

それでは以上で、今日の議事と報告を終わりにしたいと思います。進行を事務局の方にお返しいたします。お願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。長時間に渡りまして、熱心な審議大変ありがとうございます。

せっかくの機会なので、何か委員の皆様から情報提供とか、事務局の方へ、これ考えてみてとか課題がございましたら、ご自由をお願いします。

【委員】

実は、UDタクシーの導入の件ですけれども、本年度も導入計画ありながらも、ついでに言ったら、UDタクシーをやることによつての助成金の話もありながらも、この地域に関しては助成金が1件も得ることは出来ませんでした。出来ましたら、要望事項としてUDタクシーの導入に対して、市としていくらかでもいいから、助成金が欲しいというのが要望事項です。

理由に関しては、運輸支局もご存知だと思いますが、2020年に向けて、JAPANタクシーというのをトヨタが出しているのですが、UDタクシーです。車両価格が高くて、当初国が60万円助成しますという話が出ていたんですけど、募集件数が多すぎて東京都以外の地域に関しては、ほとんど出ていない、半分以下しか出ていないような状態です。広島県内においても、広島市の一部の事業者しか出ませんでした。その60万円という数字が国からの補助です。申請したにも関わらず出ないと言うのは、それを選定された結果ですけれども、その選定基準の中に、市町村でいくらかでも助成があるところ、助成金という形で、お金がいくらかでもおりるというところに対して優先的に60万円がおりたという実例が今年あります。そういうのもありまして、例え小額でも、5千円出した市町村があって、そこに対しても60万円おりたと。ですが府中市にはおりないという現実の話がありまして、いくらかでも市町村が助成をするということがあるのであれば、おろしてもいいということがあったのかも知れません。ただ、それが昨年あって、今年無いのかも知れません。UDタクシーは、障害者の方が乗り易い、車椅子がそのまま乗るようなタクシーですので、導入に対して、車椅子のスロープつきの助成も含めて、市として何らかの助成措置を要望したいというのがお願いでございますので、どうかご検討よろしくお願いいたします。

【事務局】

新年度の予算に向けて、要望をしております。今後の状況を見ながら制度化というのを検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

その他、何かございますか。

それでは、以上をもちまして、平成29年度 第5回府中市地域公共交通活性化協議会を閉会とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

○閉会